

図書館だより

市立図書館

健康文庫・家庭文庫展示

市立図書館では、県立図書館より健康文庫（病氣、医療）・家庭文庫（育児、基本的なマナー、花作り等）129冊をお借りして、9月30日（日）まで展示しています。

健康や育児に関心がある方は、この機会に市立図書館をご覧ください。

【健康文庫】

☆よくわかる最新医学

- ▽肝臓病
- ▽中性脂肪とコレステロール
- ▽アルツハイマー病・認知症
- ▽パーキンソン病 など

☆健康百科

- ▽アトピー性皮膚炎
- ▽大腸がん
- ▽骨粗鬆症
- ▽男と女の更年期
- ▽うつ・不眠 など

【家庭文庫】

- ▽赤ちゃん・子ども病氣百科
- ▽0～6歳のしつけ百科
- ▽やせる！裏ワザ知得メモ
- ▽はじめての絵手紙



百科

- ▽はじめての家づくり基本レッスン
- ▽快適なりフォーム&模様替え
- ▽節約の裏ワザ知得メモ
- ▽基本の中華レシピ
- ▽はじめての野菜づくり
- ▽色がわかる四季の花図鑑 など

ベストリーダー

（良く読まれた本）

※5月1日～7月31日

【一般図書】

- 1位 今夜は心だけだいて（唯川恵／著）

2位 恋せども、愛せども

（唯川恵／著）

3位 背広の下の衝動（新堂冬樹／著）

4位 名もなき毒（宮部みゆき／著）

5位 刑事の墓場（首藤瓜於／著）

【児童図書】

1位 死神レストラン（たかいよしかず／絵）

2位 かいけつぞろりシリーズ（原ゆたか／作・絵）

3位 よもぎだんご（さとうわきこ／作）

4位 生物（植物昆虫動物）がよくわかる

5位 ばばあちゃんのだぞなぞりようりえほん（さとうわきこ／作）

おすすめの1冊



ハル 哲学する犬

（作：クオン・デウオン）

絵をよむよし、やさしい詩を読むよし、やさしい絵を見るよし。題名に「哲学」とあっても、それは日常の中にあるの持ち方をわかりやすく書いてあるだけ。小さな本の中に、無限の世界が広がっている。心がほっとする1冊だ。 萌さん（物部町）

吉井勇記念館よりお知らせ

山峡の夕べ

―月とヴァイオリン―

満月の夜に、葦生の山峡に建つ記念館を訪れてみませんか。

当日は夜間特別開館をし、展示解説を行います。

また、古江佐和子氏による「ゴンドラの唄」をはじめとするヴァイオリンの演奏も予定しています。

吉井勇の過ごした静かな猪野々の夜を味わい、感じてください。

【日時】 9月27日（木）

18時～20時

【場所】 吉井勇記念館

【奏者】 古江佐和子氏

（ウインストンセーラム交響楽団、大阪シンフォニカーに所属。タチバナヴァイオリン教室、高知香南ジュニアオーケストラ講師。香北町猪野々在住）

【参加料】 400円（入館料含む）

※ヴァイオリン演奏会のみ参加希望の場合は200円。

【送迎バス】 定員18人

香美市役所発 17時20分

記念館発 20時10分

※バス利用希望の方は9月24日（月）までにご連絡ください。

楠瀬兵五郎先生 講演会

『第5回吉井勇顕彰短歌大会』の表彰式終了後に、今大会選者の楠瀬兵五郎先生による講演会（テーマ「現代短歌の悩み」）を開催します。

大会への作品投稿の有無に関わらず、どなたでもご参加できます。

※入場無料



楠瀬兵五郎 先生

【日時】 10月8日（月）

14時30分（予定）

【会場】 吉井勇記念館

香美市立美術館

アートの窓



小作青史 版画展

— 木を使ったリトグラフの世界を切り拓く —

開催中〜9月24日(月)まで

「木を使ったリトグラフ?」

と誰もが聞き慣れない言葉だと思えます。西欧から伝わった石版画(リトグラフ)の平版の技法を、日本の浮世絵などに存じの木版(板)に応用し、世界初の木版リトグラフを考案した作家が小作青史です。

この新技法では、従来のリトグラフに比べて、版の大きさや版型が自由で、刷りも非常に簡単になりました。この技法の開発と普及の功績は、世界の版画界にとって大変大きいといえるでしょう。

一九三六年、東京生まれの小作青史は、東京芸術大学油画科で油彩画を学びますが、在学中に学内で開かれた石版講習会に参加したことが、その後の版画制作



「かげろうから」小作青史

のきっかけとなります。卒業後、母校の版画研究室助手として勤務しながら、大阪フォルム画廊東京店で毎年個展を開催し、版画作品を発表していきます。

一九六八年には、第二回クラコウ国際版画ビエンナーレ展(ポーランド)プロッラフ美術館賞受賞、第六回東京国際版画ビエンナーレ展出品など、国内外で活躍を続けます。一九七〇年

(館長・北 泰子)

からは多摩美術大学絵画科版画専攻科に勤務します。

一九七〇年に文化庁在外研究員として、フランス、ドイツに留学した時、日本の版画を発展させたバレンの存在に気づき、帰国後、リトグラフ普及のためにプレス機の改良に着手したり、手刷りのための道具の考案も行いました。

写真の作品は、木目を生かした木版リトグラフの作品「かげろうから」です。

彼独特の表現が、見る者を O Z A K U (小作) ワールドに引き込みます。会場には、白・黒、カラーの作品五十四点が並んでいます。

国際的評価の高い作品群をお見逃しなく。

(雨天の場合は、猪野々地区公民館)

【講師】 楠瀬兵五郎先生

(高知県歌人連誼会会長。『高知アララギ』代表。『短歌21世紀』選者。高知県短詩型文学賞選者。高知県芸術祭文芸賞選者。香美市土佐山田町在住)

【送迎バス】

市役所香北支所前(旧香北町役場)より、送迎バスを運行します。

【申込・問い合わせ先】

吉井勇記念館
58-2222

(往) 11時30分、

12時30分

(復) 15時45分、

16時40分

※バス利用希望の方は10月1日(月)までにご連絡ください。

【申込・問い合わせ先】

吉井勇記念館
58-2222

香美市立美術館 第13回企画展

『デハラユキノリ10年分回顧展』

1997〜2007

【会期】 9月29日(土)〜11月4日(日)

● 関連企画 ●

① オープニングパフォーマンス

『メンペリーVE〜ハレ』
『デハラユキノリ×金子ナンペイ』

【日時】 9月29日(土)

13時30分

※入場料が必要です。(申込不要)

② デハラユキノリの実践
粘土教室『あなたもフィギュア作家』

【日時】 9月30日(日)

13時〜17時

【定員】 先着20人(定員に達し次第締切)

【対象】 子どもから大人まで(※参加費500円)

【申込・問い合わせ先】

市立美術館
53-5110